

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぞうさん長丘教室		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 1 月 17 日		令和 8 年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和 8 年 1 月 17 日		令和 8 年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 10 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の発達段階や興味関心に応じた活動内容を取り入れている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動、創作活動、クッキング、余暇活動、屋外での活動等、様々な活動を提供している。</li> <li>活動内容が固定化しないよう、職員間で検討している。</li> <li>利用児童のやってみたい気持ちを大切にしている。利用児童に聞き取りを行い、活動に取り入れている。</li> <li>個々に合わせて役割や参加方法を調整している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も活動が固定化しないよう、新しい活動を取り入れていく。</li> <li>個々の特性や発達段階に応じて、活動内容や難易度の選択肢の充実を図っていく。</li> </ul>
2	保護者と継続的に情報共有が行えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時や連絡帳でのやり取りを通して、日々の様子を伝えていく。</li> <li>気になる様子や課題について共有を行っている。</li> <li>職員間で情報共有を行い、一貫した支援、安心感につながるよう工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気軽に相談等をしていただけるよう、関係性の構築を継続していく。</li> <li>家庭での様子を伺ったり、より分かりやすい情報提供を行い、家庭と連携した支援につなげていく。</li> </ul>
3	児童が安心感を感じながら、楽しく通所できている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>成功体験や達成感を感じられるよう、活動内容や関わり方を工夫している。</li> <li>見通しの掲示や事前説明を行い、安心して過ごせる環境作りを行っている。</li> <li>利用児童の興味関心を取り入れた活動を提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の選択肢を充実させ、楽しみを感じられる機会を増やす。</li> <li>継続して、利用児童の状態等を把握し、支援に反映させていく。</li> <li>保護者との情報共有を継続し、家庭と連携した支援につなげていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者やきょうだい児の交流機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者が少なく交流の機会が十分に作れていない。</li> <li>交流機会の内容が十分に充実しておらず、参加意欲につながっていない。</li> <li>保護者やきょうだい児の交流に対するニーズの把握が十分にできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者やきょうだい児の交流に対するニーズを把握するために、アンケート等を実施し、参加意欲につながる内容を検討する。</li> <li>開催目的等をより明確に伝える。</li> <li>開催日時の設定を見直す等、参加しやすい開催方法を検討する。</li> </ul>
2	地域との積極的な交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事の情報収集が十分に行えていない。</li> <li>地域の方へ事業所のことを十分に発信できていない。</li> <li>地域の方を招いての交流はスペース等の問題から実施が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事やイベントの情報収集を行い、参加可能なものを取り入れていく。</li> <li>地域の公共施設(公園等)の活用機会を増やす。</li> <li>地域の方へ情報発信する方法の検討を行う。</li> </ul>
3	環境調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>個室が少なく、静かな環境や個別対応が必要な場面で、適した空間が不足することがある。</li> <li>利用人数や活動内容によって玄関から室内への動線が混雑することがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して、活動内容やグループ分け、スケジュールを工夫する。</li> <li>仕切りや物の配置を見直し、空間の区切りを工夫する。</li> </ul>